

備前市 事務事業 評価表

(平成17年度事業)

事業名	日生斎場維持管理事業		コード	担当課	市民福祉課 環境衛生係
			01-01-16-02	担当者	坂本基道
事業実施期間	昭和62年度～			電話	72-1104
新市総合計画 事務事業体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	火葬場・墓地			
	施策	火葬場の適正な管理運営			

事業について	
目的	斎場を適正に管理し、利用者の方に不快感をあたえず気持ちよく利用していただく。
対象 (誰のために)	斎場を利用するすべての市民 斎場を利用する市外の利用者
内容	火葬を執行するために斎場・霊柩車等の維持管理を行なう。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	19年度 回数など (単位)
火葬執行	84 件	件	件
		件	件
		件	件
		件	件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	126,101	国県補助金		直接事業費		国県補助金	
	人件費	1,240	受益者負担	2,253	人件費		受益者負担	
		市債				市債		
合計	127,341	一般財源等	125,088	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.35 人		
結果指標名	火葬執行		
結果指標量	84		
単位	件	件	件
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
事業費	128,506,000 円	円	円
単位当たりコスト①	1,529,833 円	円	円
結果指標名			
結果指標量			
単位	件		
対前年比	—	#DIV/0!	#DIV/0!
事業費	円	円	円
単位当たりコスト②	円	円	#DIV/0!

事業の成果			
成果指標名	火葬執行業務は、成果指標となる判断基準がないため。	式又は説明	事業費/日生町地域世帯数3,092世帯
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	41,560		
対前年比	—	0.00%	#DIV/0!
到達目標値	斎場運営コストの削減	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	火葬執行については関係法令等に基づき適正に処理しており、火葬申込者のニーズに対応できている。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	火葬炉や冷暖房設備をはじめ待合棟などの施設が老朽化しており、定期的な維持補修が必要である。また、火葬執行については、外部委託しているため効率的な運営が可能となっている。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	火葬執行については、市民生活上不可欠なものであり、運営コストの削減について努力しているものの、施設利用者がいる限り継続して行かなければならない事業である。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E> B
コメント	施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。また、施設の利用については、サービス等の地域間格差(備前・日生・吉永)があり、今後は是正する必要がある。	

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	結果指標量②
目標値 結果指標量	斎場運営コストの削減

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	処理施設の計画的な維持補修	H19~	施設維持管理費のコスト削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と留意しながら有効性の評価を行って下さい。